

## 情報学科の教育改善システム (PDCA サイクル)

### 1. 学科組織としての教育改善 (PDCA サイクル)

情報学科では、「情報学科各会議の規約」に従い、以下のような組織的教育改善を行っています。

#### (1) 学科会議 (P : Plan & D : Do) 毎月 2 回程度

学科会議は、学科全体の運営改善に関する計画・立案 (P), 実行 (D) を行う会議です。また、学部および学科 FD 会議からの計画・立案 (P) に関する審議・実行 (D) を行う会議となる場合もあります。

#### (2) 学科 FD 会議 (PDCA & P : Plan) 毎月 1 回程度

学科 FD 会議には、学科の教育改善や授業改善に関する計画 (P)・実行 (D)・点検 (C)・改善 (A) を行う機能があります。主に授業科目について、シラバス等の授業計画を話し合い (P), 日常的に点検を行い (C), 改善案を話し合い (A), 実行しています。改善すべきことは、担当教員の話し合いですぐに実行に移せるようにしています。

#### (3) 第三者評価会議 (C : Check) 教育プログラム改定年度

学科の教育および教育改善活動に関して、第三者の意見を収集します。学科の取り組みについて説明を行い、社会のニーズが反映されているか、教育の質、学生の質は保たれているか等の検討を行います。

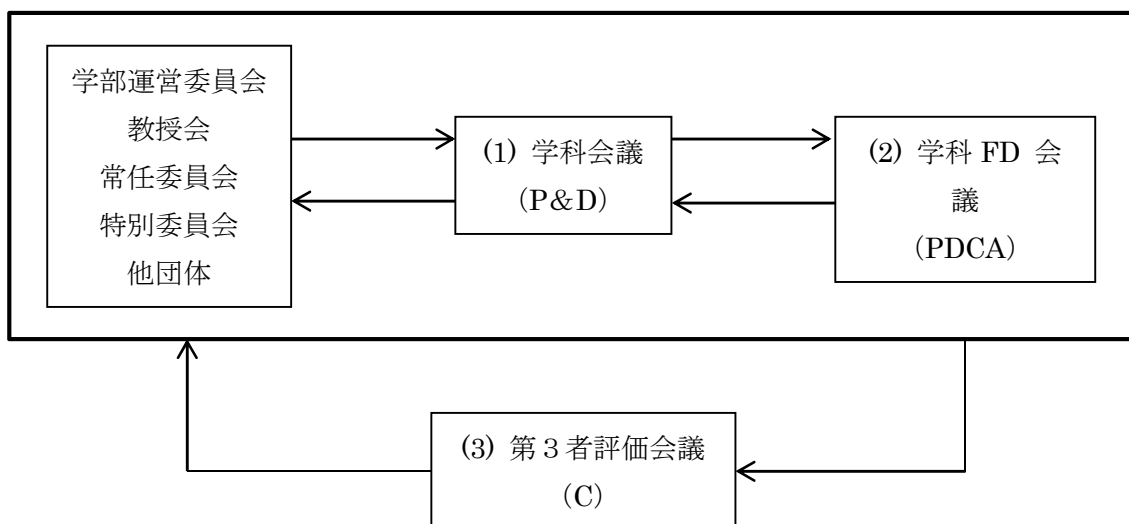


図 1. 情報学科の組織的教育改善システム

## 2. 教員個人としての教育改善 (PDCA サイクル)

情報学科では、個々の教員についても、以下のような PDCA サイクルにより授業改善を行っています。

### (1) シラバス・授業デザインの作成 (P : Plan)

シラバスは、ただ単に専門知識を教えるのではなく、学科が掲げる学習・教育到達目標との整合性を重視しています。学科の学習・教育到達目標を踏まえ、授業全体の到達目標、各コマの到達目標を詳細に検討し、シラバスに記載します。また、授業デザインは、シラバスに即した授業を遂行するための具体的な日程、授業内容を修得するための細かいルール（学生との約束）を示すものとなっています。ただし、成績評価に関してはシラバスの記載を遵守しています。

### (2) 授業の創意工夫 (P: Plan, D : Do)

授業では、シラバスに掲げた各コマの到達目標に達するように、様々な創意工夫を行います。魅力ある授業を行うには、日々の改善努力が重要です。

### (3) 授業評価アンケート (C : Check)

学部が実施する授業評価アンケートにより、各セメスターの授業全体の取り組みについてチェックします。

### (4) リフレクションペーパー (A : Action)

授業評価アンケート結果を検討し、次年度の授業改善につなげて行きます。

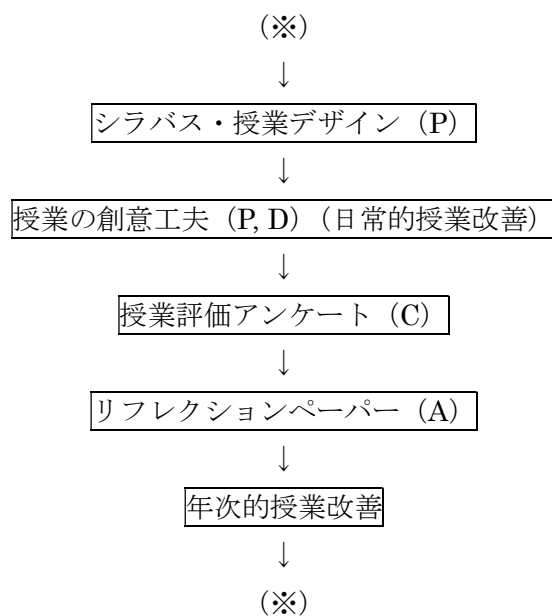


図 2. 教員個人の教育改善システム